

安全だより

第 49 号

◆発行
令和2年6月19日



公益社団法人
下松市シルバー人材センター
安全委員会

全国統一安全スローガン

事故防止、急ぐな、あせるな、気を抜くな

《安全》は《思いやりの心》から



安全に気を付けるのは誰の為でしょうか？

当然自分自身の為です。しかし、それだけでは本当に安全を心掛けているとは言えません。

交通信号を守るのは、「法律で決められているから」「自分が事故にあわないようにする為」と同時に、「他人にケガをさせない」「周囲の人を事故に巻き込まない」という、《思いやりの心》からだと思います。

作業中の危険について考えるのは、自分の為であると共に周りの人の安全に気を配ることであります。危険個所を自分で意識すると同時に、周りの人にも注意する。道具を扱う場合でも、自分だけでなく、周囲にも気を配る。

スムーズな生活をするためには、決められたことを完全に守ることは難しい場面もあります。

そんな時でも《思いやりの心》を持って対応していけば、少しでも事故を

減らしていけるのではないのでしょうか。



★ 事故は次のようなことから(ワースト7)

- ① 大丈夫だと思った。
- ② 気がつかなかった
- ③ 油断していた。
- ④ 慌てていた。
- ⑤ 無理な姿勢で作業していた。
- ⑥ 深く考えなかった
- ⑦ よく見えなかった。

事故を振り返ってみたら
左記の事が分かりました。
参考にしましょう

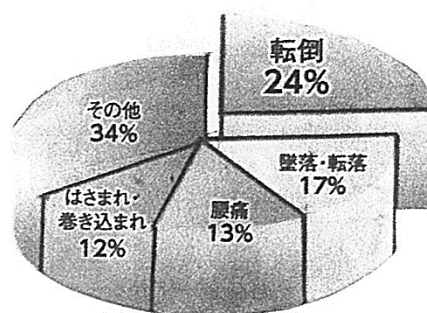
● 災害の原因を取り除く“4S活動”を怠りなく！

- ◆ 4S(せ)とは「整理」「整頓」「清掃」「清潔」のことで、これらを日常的な活動として行うのが4S活動です。
- ◆ 4S活動は、労働災害の防止だけでなく、作業のしやすさ、作業の効率化も期待できます。
- ◆ 目に触れにくい保管場所なども整頓を忘れないようにしましょう。
- ◆ 作業道具やゴミなど、物が散らかっている場所や、水や油で床が滑りやすい場所は、災害の危険が高くなりますので注意しましょう。

“あなたは知っていますか”

意外と知られていません。転倒による労働災害。

中災防（中央労働災害防止協会）の統計によると、転倒による休業災害は全体の1/4を占めています。人の移動で一番身近な、歩行によって災害が起こっているということは、余りにも身近すぎて安易な行動になっているからかもしれません。年を取ってくると、歩幅は小さくなり前かがみのよちよち歩きになりがちです。私たちはまだ若い、歩き方の見直し、筋力アップに心がけましょう。

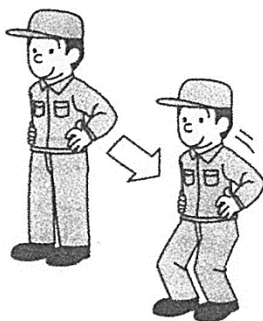


2017年労働災害発生状況

転ばない体力を作るために 日ごろから筋力アップに 努めましょう

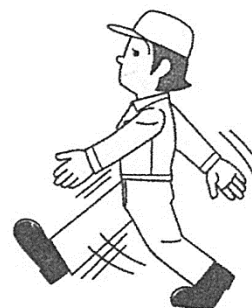
例：スクワット

足を肩幅位に開きます。手を腰に当てて、膝の角度が45～60度程度になるように曲げます。これを10回×2セットを目安に行いましょう。



歩き方を見直そう

すり足で歩を進めると歩幅が狭くなり、転倒しやすくなります。普段よりも一歩前に足を出すことを意識して歩幅を広げ、つま先で地面を蹴り、かかとから着地して歩くようにしましょう。



😊 皆さんは普段、自分がどんな顔をしているか知っていますか？ 😊

人間は自分の周りにいる人が自分の顔を映すといわれます。つまり周りの人の笑顔が多ければ自分も笑顔で接しているということで、周りの人が怒ったような顔をしていたら自分も怒った顔で対応しているという事です。昔からのことわざに「笑う門には福来る」とあるように、いつも笑いが絶えない家庭には自然と幸福が訪れます。笑いは最高の特効薬であり、笑うことにより神経伝達物質であるセロトニン、別名「幸せホルモン」が放出され活力が高まることでプラス思考となり、免疫力アップとなります。

皆さん1人ひとりの笑顔をつなぎ、声を掛け合い安全を心掛け事故ゼロを目指しましょう